

長崎市提案型協働事業提案企画書

団 体 名	MODAL（モーダル）
提案事業の名称	共通言語「マンガ」で相互理解、外国人観光客トラブル防止事業
提案事業の目的	<p>外国人観光客増加の一方で、我々受入れる側との文化の違いによる誤解が生じ、トラブルとなる事例が発生している。</p> <p>いまや世界言語となった「マンガ」などのポップカルチャーを利用することで、楽しく、わかりやすく、キャッチーにお互いの理解を深める。</p> <p>これは「芸術文化を通して長崎の魅力を発信する」という私たち MODAL のミッションにも合致するものです。</p>
課 題 の 緊急性・重要性	<p>近年外国人観光客の増加で長崎の街に賑わいが増えたが、その一方で、店舗でのトラブル、交通マナー、ゴミのポイ捨て、トイレの使い方等トラブルが発生し、苦情の件数も増加している。</p>
協働の必要性	<p>コンテンツの作成は漫画キャラクターを利用した地域活性化の実績のある私たちが行い、公共経由で配布、周知等を広範囲に行うことで、両者の強みを生かして共に課題整理を行う。</p>
協働による 相乗効果	<p>私たち MODAL の強みである「世界でウケる漫画キャラクター」作りを PR に生かすことで、国籍を問わず多くの人に不快感を与えることなく受入れてもらえるようになる。</p> <p>これまでこの緊急課題に多種に対応されてきた市の取組みにこの要素を加える事で効果の向上が望まれる。</p>
協働の役割分担	<p>1 提案団体が果たそうとする役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生、土産物店等の聞き取り取材に基づくトラブル及び解決例を漫画化 ・ 相互理解をテーマにしたキャラクター制作 ・ 思わず手にとって読みたくなるようなパンフレット作成 ・ お土産にもなるマナー向上グッズ制作（携帯ゴミ袋ケース、シール、ポストカード等） <p>2 本市に期待する役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題の絞込み、効果的な対策の検討 ・ 情報提供、取材の仲介、セッティング等 ・ キャラクターをウェブサイトや印刷物等に積極的に広報・PR ・ 作成した印刷物やグッズを関係各所に幅広く配布

<p>提案事業の内容</p>	<p>1 キャラ作成事業 目標：相互理解を啓発する漫画キャラクターの作成 成果：知名度のアップ、取組みの周知化 内容：名前等を決定後、コンペを行い漫画キャラクター作成を依頼 シールを作成、各店舗に配布、ウェブサイト、SNS でも展開</p> <p>2 広報漫画パンフレット作成事業 目標：長崎に来る前の観光客にマナー向上の啓発 文化の相違やそれに伴うトラブル、更には解決事例を体験者から聞き取り、事例集として漫画小冊子化、広く配布する 成果：具体例による解決策をわかりやく提示できる。 内容：地元の漫画家による数ページの漫画をまとめて小冊子にする。 長崎に来る前、あるいは来た直後の観光客に見てもらうため多言語版にし、旅行会社、市内各商店、観光施設等に配布。</p> <p>3 お土産にもなるマナー向上グッズ制作 目標：観光客がお土産として持ち帰りたくなるグッズ（バックに付けられるカプセル型携帯ゴミ袋ケース、シール、ポストカード等）制作 成果：次に来るであろう観光客に事前のPRができる。 観光都市長崎のマナー向上に対する取組みを各国にアピールできる。 内容：マナー向上のメッセージを、キャラ作成事業で決定したキャラクターと長崎の観光地や名物などと共に描いたグッズを作成。観光客や店舗等に配布。</p>
<p>提案事業の実施体制</p>	<p>1 総括責任者 林田 英昭</p> <p>2 個別事業責任者 漫画冊子作成事業責任者 赤瀬 孝太郎 その他各事業責任者 林田 英昭</p> <p>3 事業実施にあたっての専門性やノウハウ 平成 25 年から活動を実施しており、これまで「幕末 NAGASAKI」「ながさき坂道むすめ」等の地域活性化を目的にしたグッズを作成 現在長崎公園キャラクター企画制作中 また、メンバーの赤瀬は長崎を拠点に活動する漫画化集団「DEP α RTURE（デパーチャー、メンバー約 20 名）」の代表でもある。</p>

事業 スケジュール		第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月
	キャラ作成事業	名前決定 コンペ	デザイン完成 ウェブ掲載	シール完成 配布	配布 PR
	広報漫画パン フレット作成 事業	企画準備 取材	ストーリー完 成 原稿完成	編集・印刷 配布	配布 PR
	お土産にもな るマナー向上 グッズ制作	企画準備	レイアウト完 成	デザイン完成 印刷	配布 PR
事業の展望及び 今後の活動展開	<p>印刷物やウェブメディアだけでなく、市民、行政、商店、旅行会社、地域自治会、留学生、海外より長崎に移住された方、長崎旅行経験者、あらゆる人が実際に交流会等対話を通して相互理解、国際交流ができるようなお手伝いがしたい。</p> <p>そのために現在国際交流や留学生支援などを行っている市民活動団体ともネットワークを広げていきたい。</p>				